

ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum



企画展

みんなの校歌

練馬区編

練馬東中学校校歌

作詞 草野心平
作曲 渡辺庸人

1

日輪は 天にあまねく
年ごとに 四季は へめぐる
われらみな 健やかにして

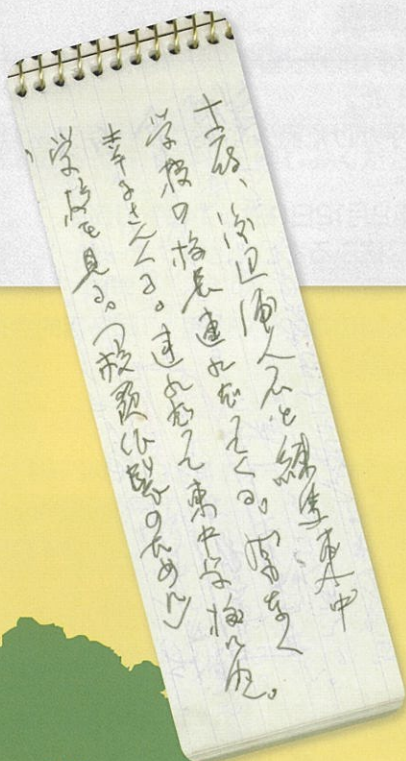
相助け はげみあいつ
自らの 学を修める

練馬東 おれらが母校
榮えおれよ おれらが校旗

II

群青の 空の遙かに
鉄父嶺や 西の白富士
その高き おれらが理想
脈からよ 深く考へ
新しき 文化創り

練馬東 おれらが母校
輝やけよ おれらが未来



令和5年1月21日(土)～3月21日(火・祝)

石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室

(上) 草野心平筆練馬東中学校校歌歌詞(複製/当館蔵)／

(左) 草野心平日記より同校校歌記載部分(昭和48(1973)年12月15日)／

(右) 子犬の哲子と豚子を抱く草野心平1965年頃／写真提供: いずれも いわき市立草野心平記念文学館

後援: 練馬区教育委員会

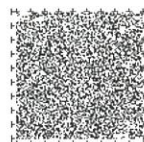
練馬区立 石神井公園



ふるさと文化館

NERIMA SHAKUJIIKOEN FURUSATO MUSEUM

新型コロナウイルスの感染状況により、本誌掲載イベントのほか当館が主催するイベント等が中止や変更となる場合がございます。イベント等の実施につきましては、当館までお問合せいただくか、当館ホームページにてご確認くださいませようお願いします(随時更新いたします)。



企画展「みんなの校歌—練馬区編」

- 会 期:令和5年1月21日(土)~3月21日(火・祝)
- 会 場:石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室
- 観覧料:無料

学校があれば、校歌がある…ですが、日本の「校歌」はいつごろから作られ始め、どのように広がっていったのでしょうか。歴史は明治初期から始まった、西洋音楽の導入に遡ります。といっても、まだ日本人の手による楽曲も少なく、学校では「唱歌」という科目はありましたが五線譜や楽器、合唱というものに慣れない時代が続きます。教わるほうも、教えるほうも大変です。やがて明治20年代後半、ひとつの転機が訪れ、次第に学校からの声でそれぞれの校歌が誕生し、全国へと広がっていきました。

また、歴史をたどれば、「小学唱歌」と「童謡」と「校歌」は親戚のようなつながりを持っています。

校歌の普及に不可欠だったオルガンの普及も含め学制150年の今年度、校歌の歴史を振り返るとともに、練馬区内の小中学校の校歌の歌詞に焦点をあて、歌の中に描かれた地域の風景や風土、歴史や、心を込めて校歌を作った人々の思い、校歌の持つ力などを紹介します。

練馬区ゆかりの文化人による校歌のコーナーでは、校歌歌詞を手がけた伊波南哲、梅崎春生、草野心平、武島羽衣、堀尾青史の業績を収蔵資料を中心に展示します。

関連イベント

講演会「日本の校歌の歴史と現在」

日 時 令和5年2月25日(土) 14時~15時30分
講 師 渡辺裕
東京大学名誉教授／
東京音楽大学客員教授(音楽社会史・文化資源論)
定 員 90名(抽選) 参加費 無料
会 場 石神井公園ふるさと文化館 1階多目的会議室
申 込 事前申込制

展示解説会

日 時 令和5年2月8日(水)、3月4日(土)
各回14時から30分程度
定 員 90名(当日先着順) 参加費 無料
会 場 石神井公園ふるさと文化館 1階多目的会議室

かみしばいと朗読

校歌の作詞を手がけた堀尾青史は新たな紙芝居の世界をひらきました。

同じく校歌を手がけた詩人の草野心平、伊波南哲の詩を朗読します。

日 時 令和5年2月12日(日) 14時~15時
出 演 石神井公園ふるさと文化館サポーター
定 員 50名(抽選) 参加費 無料
会 場 石神井公園ふるさと文化館 1階多目的会議室
申 込 事前申込制

※詳しくは本展チラシ、ホームページをご覧ください。

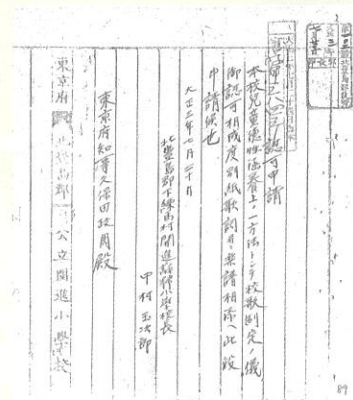
コラム 大正3年「私たちの校歌を作りました。どうか認可してください。」

写真は、大正3(1914)年、開進尋常高等小学校(現・練馬区立開進第一小学校)から当時の東京府知事経由で文部大臣あてに提出された、「校歌認可申請書」です。こうした申請書が出される前、明治20年代までは学校独自の校歌などありませんでした。校歌と言っても学校行事のときに歌う歌をいくつか収めた『学校必用唱歌集』などが出版された時代。本のなかでは、どこの学校でも歌える共通の歌詞の「校歌」という歌があるだけで「わたしたちの学校のうた」は、まだ生まれていませんでした。

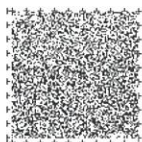
こののち、明治20年代後半に、認可を受ければ独自の校歌を制定できるようになり、明治33(1900)年には日本の最初の校歌と言われる歌が、東京女子師範学校(現・お茶の水女子大学)に認可されます。

練馬区内の学校では、確認できるものでは大正3年に開進尋常高等小学校から東京府知事経由で、文部大臣あてに校歌認可申請が出され、大正7(1918)年に認可されたのが最初ようです(歌詞つき楽譜がついています)。

昭和初期には、全国から次々と認可申請が出されるようになります。ちなみに写真の校歌は、昭和47(1972)年、時代に合った新しい校歌へと生まれ変わりました。



北豊島郡下練馬村開進尋常高等小学校校長より
東京府知事あて「校歌認可申請書」
大正3年7月20日(東京都公文書館蔵)



第10回ねりま手工芸公募展 表彰作品

令和4年9月4日(日)～9月10日(土)、当館企画展示室において、第10回ねりま手工芸公募展が開催され、応募のあった様々なジャンルの作品の中から、50点が展示されました。各賞の受賞者を紹介します。

練馬区長賞：吉見 奈緒子 作「世界時計」

石神井公園ふるさと文化館館長賞：志波 信行 作「アーチトップウクレレ」

練馬区手工芸作家連盟会長賞：松原 淳子 作「AKATSUKIー暁ー
クリスマスローズ」

練馬区伝統工芸会会長賞：塩田 東花 作「カバ」

優秀賞 加山 紀子 作「ドレスデンプレート」

江南 宏 作「災害用照明・スタンド」

藤田 友司 作「十二支兜チャームホルダー」

猪股 護 作「話題のパンブーアート」

曾野 浩子 作「ピーナッツできた！」

木村 恒順 作「レインボー『虹のかけ橋』」



練馬区長賞：吉見 奈緒子 作
「世界時計」

今回の手工芸公募展は、令和5年6月ごろに作品を募集し、9月ごろに展覧会を開催する予定です。是非ご出品ください。

主催：ねりま手工芸公募展実行委員会(練馬区手工芸作家連盟・練馬区伝統工芸会・練馬区・公益財団法人練馬区文化振興協会)

古民家で季節を味わってみませんか？

石神井公園ふるさと文化館に隣接する、区指定文化財「旧内田家住宅」では、季節に合わせた展示を行っています。古民家で季節の風情をお楽しみください。

床の間の掛け軸は季節に合わせて掛け替えています。生け花は、練馬区華道茶道連盟会員の方が交替で季節の花を毎月活けてくださっています。

8月
掛け軸：海老図
生け花：ヒマワリなど



7月 七夕



5月 五月人形



9月 十五夜



1月 まゆ玉飾り

ちよつと一服

サポーター コラム

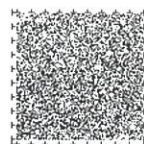
ふるさと文化館では、案内やイベントのお手伝いなど現在85名のサポーター(ボランティア)が活動しています。今回はサポーターの光橋孝司さんにご興味のある歴史題材のコラムを寄せてくださいました。博物館を楽しんでいるサポーターのお話と共に練馬区の歴史や文化への理解を深めてみてはいかがでしょうか。

我が国の発展 渋沢栄一と津田梅子

渋沢は25歳で一橋慶喜(後の15代将軍徳川慶喜)の家臣に取り立てられ、慶応3(1867)年には、パリ万博の幕府使節団として渡仏した。ヨーロッパ文明に触れ感銘をうけ、帰国後その経験を活かし民間の立場から約500社の株式会社や銀行等を設立。経営指導に尽力、民間経済、外交、社会公共事業に取り組み、我が国の経済社会の基礎を作った。また慈善家でもあり多くの功績がうかがえる。

津田は、大久保利通などが参加した岩倉具視使節団に同行、6歳で米国へ留学し11年間学問に専念した。女性の地位向上、教育の重要性を痛感し、後年には女子教育の先駆者として女子英学塾(現・津田塾大学)を創設した。

2024年紙幣改定に伴い、渋沢は1万円札、津田が5千円札に決定した。大変すばらしい栄誉である。



催し物のご案内(12月～3月)

石神井公園ふるさと文化館展覧会

企画展「みんなの校歌—練馬区編—」

令和5年1月21日(土)～3月21日(火・祝)

※展覧会および関連イベントの詳細等につきましては、2ページをご覧ください。

季節展示

歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。

正月飾り 12月28日(水)～1月7日(土) 観覧無料

まゆ玉飾り 令和5年1月8日(日)～1月15日(日) 観覧無料

ひな飾り 令和5年2月18日(土)～3月3日(金) 観覧無料

ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。

東京の水、練馬の水

12月11日(日)14時～16時

講師:松山 洋(東京都立大学大学院都市環境科学研究科教授)

定員:90名(抽選)

参加費:無料

会場:石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

申込:事前申込制

東京・練馬の生活革命—高度成長期のくらしの変化—

令和5年3月19日(日)14時～16時

講師:松井 かおる(当館学芸員)

定員:90名(抽選)

参加費:無料

会場:石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

申込:事前申込制

その他イベント

リードオルガンコンサート

令和5年2月19日(日)14時～15時

出演:オルガン演奏 相田南穂子/ソプラノ 山本富美

定員:50名(抽選) 参加費:無料

会場:石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

申込:事前申込制

分室

五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

12月24日(土)、令和5年1月28日(土)、3月25日(土)

※2月はお休み

①:13時30分～15時 ②:15時30分～17時

対象:中学生以上 定員:各回16名(抽選)

参加費:各回300円～500円(解説員により異なる)

会場:石神井松の風文化公園管理棟内 五味康祐オーディオ展示室

申込:事前申込制

区内大学との連携コンサート

武蔵野音楽大学サロンコンサート 12月4日(日)

日本大学芸術学部サロンコンサート 令和5年1月29日(日)

いずれも14時～15時

対象:小学生以上 定員:100名(抽選) 参加費:無料

会場:石神井松の風文化公園管理棟2階 多目的室

申込:事前申込制

その他のイベント

石神井中学校演劇部による絵本とおはなしの会

令和5年3月11日(土)14時～15時

対象:幼児～小学生と保護者 出演:石神井中学校演劇部

定員:40名 参加費:無料 申込:事前申込制

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内 (令和4年11月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) 入館無料 ※特別展は有料

休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

	石神井公園ふるさと文化館	徒歩10分	分室
最寄駅	- 西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分 - 西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分		西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分
バス	- 西武バス 「JA東京あおば」下車 徒歩5分 荻14 (石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅) - みどりバス「JA東京あおば」下車 徒歩5分 関町ルート (関町福祉園～武蔵関駅南口～上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院) - 西武バス「三寶寺池」下車 徒歩2分 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)		- 西武バス 「石神井郵便局」下車 徒歩1分 吉60 (成増町～石神井公園駅北口～上石神井駅～吉祥寺駅) - 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.45

令和4(2022)年11月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061